

Cisco UCS Server Configuration Utility リリースノート

初版：2017年10月20日

最終更新：2020年9月18日

はじめに

このマニュアルでは、UCS サーバ設定ユーティリティ (Cisco UCS SCU) および関連するファームウェアまたはドライバの機能、システム要件、解決した問題、および未解決の問題について説明します。このドキュメントは、『*CISCO UCS Server Configuration Utility ユーザガイド*』および『*Cisco Driver Update Utility User Guide*』とともに使用してください。これらについては、[こちら](#)を参照してください。

マニュアルの変更履歴

表 1: マニュアルの変更履歴

改定	日付	説明
J0	2020年9月18日	リリース 6.1(2d) 向けリリースノートを作成
I0	2020年4月22日	リリース 6.1(1b) 向けリリースノートを作成
H0	2019年9月6日	6.0(4c) の未解決および解決済みの問題を更新
G0	2019年9月4日	リリース 6.0(2b) の未解決の問題を更新
F0	2019年6月11日	リリース 6.0(4) 向けリリースノートを作成
E0	2019年2月25日	リリース 6.0(2) 向けリリースノートを作成
D0	2018年10月26日	リリース 6.0(1) 向けリリースノートを作成

改定	日付	説明
C0	2018年4月27日	リリース 5.1(3) 向けリリースノートを作成
B0	2017年11月23日	リリース 5.1(2) 向けリリースノートを作成
A0	2017年10月20日	リリース 5.1(1) 向けリリースノートを作成

Cisco UCS Server Configuration Utility

Cisco UCS Server Configuration Utility (SCU) は、サーバ上のオペレーティングシステムのインストールを管理するのに役立つアプリケーションです。このユーティリティは、単一のアプリケーションから必要な OS をセットアップするのに役立ちます。Cisco UCS-SCU は、サーバハードウェアの自動認識により、いくつかの質問を通してサーバを短時間で設定するのに役立ちます。リブートの回数は最小限で済み、オペレーティングシステムの自動的な無人インストールが可能です。

SCU を使用すると、次の作業を実行できます。

- オペレーティングシステムのインストール
- RAID レベルの設定



(注) UEFI ベースの OS インストールは、M5 プラットフォームでのみサポートされています。

リリース 6.1(1b) 以降では、Cisco UCS Server Configuration Utility が提供するオプションが変更されています。

Cisco Driver Update Utility

Cisco Driver Update Utility によって、シスコのサポート対象デバイスすべてのドライバをインストールまたは更新することができます。

Cisco Driver Update Utility を使用すると、ドライバ更新を個別に、またはまとめてインストールできます。



(注) Windows ドライバ zip ファイル内の DriverPackageInfo.xml ファイルが更新されます。

これらのタスクの実行の詳細については、[Cisco Driver Update Utility](#) を参照してください。

システム要件

ここでは、Cisco UCS SCU および Cisco Driver Update Utility でサポートされているオペレーティング システム、サポートされているハードウェア プラットフォーム、およびハードウェア要件を示します。

サポートされるオペレーティング システム

特定のサーバでサポートされているオペレーティング システムのリストについては、[UCS Hardware And Software Compatibility Matrix](#) を参照してください

リリース 6.1(2d)

リリース 6.1(2b) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2
- HyperV 2019
- HyperV 2016
- CentOS 8 Update 2
- CentOS 8 Update 1
- CentOS 8
- CentOS 7 Update 8
- CentOS 7 Update 7
- CentOS 7 Update 6
- CentOS 7 Update 5
- CentOS 7 Update 4
- CentOS 6 Update 10
- CentOS 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2
- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1
- Red Hat Enterprise Linux 8
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4

- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- SUSE Linux Enterprise Server 15 (SP1)
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (SP5)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (SP4)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (SP3)
- Ubuntu 18.04.4
- Ubuntu 18.04.3
- Ubuntu 18.04.2
- Ubuntu 18.04.1
- Ubuntu 18.04
- Ubuntu 16.04.6
- Ubuntu 16.04.5
- Ubuntu 16.04.4
- VMware ESXi 7.0
- VMware ESXi 6.7 U3
- VMware ESXi 6.7 U2
- VMware ESXi 6.7 U1
- VMware ESXi 6.7
- VMware ESXi 6.5 U3
- VMware ESXi 6.5 U2
- VMware ESXi 6.5 U1
- VMware ESXi 6.0 U3

リリース6.1(1b)

リリース 6.1(1b) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2
- HyperV 2019
- HyperV 2016

- CentOS 8
- CentOS 7 Update 7
- CentOS 7 Update 6
- CentOS 7 Update 5
- CentOS 7 Update 4
- CentOS 7 Update 3
- CentOS 6 Update 10
- CentOS 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1
- Red Hat Enterprise Linux 8
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- SUSE Linux Enterprise Server 15 (SP1)
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (SP5)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (SP4)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (SP3)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (SP2)
- Ubuntu 18.04.2
- Ubuntu 18.04.1
- Ubuntu 18.04
- Ubuntu 16.04.5
- Ubuntu 16.04.4
- Ubuntu 16.04.3
- Ubuntu 16.04.2
- VMware ESXi 6.7 U3
- VMware ESXi 6.7 U2

- VMware ESXi 6.7 U1
- VMware ESXi 6.7
- VMware ESXi 6.5 U3
- VMware ESXi 6.5 U2
- VMware ESXi 6.5 U1
- VMware ESXi 6.5
- VMware ESXi 6.0 U3
- VMware ESXi 6.0 U2
- VMware ESXi 6.0 U1

リリース 6.0(4)



(注) サーバ上でサポートされているオペレーティングシステムは、プロセッサのタイプによって異なります。次に例を示します。

- 第2世代の Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサを搭載したサーバは、Ubuntu 18.04.1 LTS および 18.04.2 LTS をサポートしています。
- Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサを搭載したサーバは、Ubuntu 18.04 LTS、18.04.1 LTS、18.04.2 LTS、16.04.4 LTS、16.04.5 LTS、および 16.04.6 LTS をサポートしています。

リリース 6.0 (4) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- VMware ESXi 6.7
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2

- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 4
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1
- CentOS 6.9
- CentOS 6.10
- CentOS 7.3
- CentOS 7.4
- Centos 7.5
- Ubuntu 16.04
- Ubuntu 18.04

リリース 6.0(2)

リリース 6.0 (2) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- VMware ESXi 6.7
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 4
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- CentOS 6.9
- CentOS 6.10

- CentOS 7.3
- CentOS 7.4
- Centos 7.5
- Ubuntu 16.04
- Ubuntu 18.04

リリース 6.0(1)

リリース 6.0 (1) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Storage Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- VMware ESXi 5.5
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 1
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- CentOS 6.9
- CentOS 6.10
- CentOS 7.3
- CentOS 7.4
- Centos 7.5
- Ubuntu 16.04
- Ubuntu 18.04

リリース 5.1(3)

リリース 5.1 (3) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- CentOS 6.9
- CentOS 7.3
- CentOS 7.4

リリース 5.1(2)

リリース 5.1 (2) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- Centos 7.3

Release 5.1(1)

リリース 5.1 (1) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016

- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5

サポートされるプラットフォーム

リリース **6.1(2d)**

UCS-SCU 6.1(2d) および Cisco Driver Update Utility 6.1(2d) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C240 SD M5
- UCS-C125 M5
- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-C480 ML
- UCS-S3260 M5
- UCS-C220 M4
- UCS-C240 M4
- UCS-C460 M4
- UCS-S3260 M4

リリース **6.1(1b)**

UCS-SCU 6.1(1b) および Cisco Driver Update Utility 6.1(1b) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-C480 ML
- UCS-S3260 M5
- UCS-C220 M4
- UCS-C240 M4
- UCS-C460 M4

- UCS-S3260 M4

リリース 6.0(4)

UCS-SCU 6.0(4) および Cisco Driver Update Utility 6.0(4) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-C480 ML
- UCS-S3260 M5

リリース 6.0(2)

UCS-SCU 6.0(2) および Cisco Driver Update Utility 6.0(2) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C125 M5
- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-C480 ML
- UCS-S3260 M5
- UCS-C220 M4
- UCS-C240 M4
- UCS-C460 M4
- UCS-S3260 M4

リリース 6.0(1)

UCS-SCU 6.0(1) および Cisco Driver Update Utility 6.0(1) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C125 M5
- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-S3260 M5
- UCS-C220 M4

- UCS-C240 M4
- UCS-C460 M4
- UCS-S3260 M4

リリース 5.1(3)

UCS-SCU 5.1(3) および Cisco Driver Update Utility 5.1(3) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-S3260 M5

リリース 5.1(2)

UCS-SCU 5.1(2) および Cisco Driver Update Utility 5.1(2) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5

Release 5.1(1)

UCS-SCU 5.1(1) および Cisco Driver Update Utility 5.1(1) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5

Cisco UCS SCU のハードウェア要件

次に、UCS-SCU の最低ハードウェア要件を示します。

- CD-ROM ドライブ : UCS-SCU を起動し、実行するためには、USB CD/DVD-ROM ドライブが必要です。CMC KVM で仮想メディア オプションを使用して UCS-SCU を起動することもできます。
- マウス : 一部の機能では、ナビゲーション用に標準マウス (PS/2 または USB) が必要です。
- USB ディスク オンキー デバイス : UCS-SCU のログの保存などの機能のために、USB ディスク オンキーが必要です。

- RAM：最低 1 GB の RAM。使用可能な RAM が最低推奨値より小さい場合、UCS-SCU は適切に機能しません。
- ネットワーク アダプタ：support.cisco.com からの OS ドライバのダウンロードなど、一部のオプション機能にはネットワーク アクセスが必要です。任意の単一のオンボード NIC アダプタ接続がサポートされます。



(注) ネットワーク設定は、6.0(4) リリースではサポートされていません。

- RAID カード：RAID 設定および OS のインストールは、選択されたコントローラでサポートされます。



(注) リリース 6.0(4) 以降では、SCU は JBOD モードのインストールをサポートしています。

ドライブが JBOD モードの場合、状態は「drive がさらされており、ホストによって制御されています」と表示されます。この状態になると、SCU によって、ユーザーはドライブ上の OS のインストールを進めることができます。ドライブが「未設定」状態になっている場合は、OS のインストールを続行する前に論理または仮想ドライブを設定する必要があります。



(注) 現在、UCS-SCU は Intel アダプタだけをサポートしています。

RAID カード：RAID 設定および OS のインストールは、選択されたコントローラでサポートされます。

新機能

リリース 6.1(2d) の新機能

リリース 6.1(2d) の新機能

- UCS-M2-HWRAID - Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラを Cisco UCS C125 でサポートします。

リリース 6.1(1b) の新機能および廃止された機能

リリース 6.1(1b) の新機能

- Cisco UCS SCU は、多くの新しいオペレーティングシステムのインストールをサポートするようになりました。詳細については、[サポートされるオペレーティングシステム \(3 ページ\)](#) を参照してください。

- Cisco UCS SCU では、ESXi のクイック インストールがサポートされるようになりました。
- Cisco UCS SCU では、物理ディスク、仮想ディスク、NVMe ディスク、SD カード、M.2 ディスク、および SWRAID での OS のインストールがサポートされるようになりました。



(注) Windows または Linux OS のインストールが完了したら、工場出荷時のデフォルトのパスワード、**Pa55w0rd@**を使用してください。

廃止された機能

Cisco UCS SCU は、次の機能をサポートしなくなりました。

- Server Inventory
- Server Health
- サーバ診断
- 新しい GUI には、ツールバーはありません。

リリース 6.0 (4c) の新機能

レガシー M.2 ドライブでの OS のインストールのサポート

リリース 6.0 (4c) 以降では、NI-SCU は、AHCI モードの M.2 フォームファクタ SSD での OS のインストールをサポートしています。

NI-SCU OS のインストールのシリアル番号/VD ID に基づくドライブ検出のサポート



(注) この機能は、レガシーの M.2 ドライブではサポートされていません。

NI-SCU スクリプトは、`osDrive:/dev/sdk` フィールドを使用して OS インストール ディスクを決定します。ただし、サーバに仮想ディスク、物理ディスク、SD カード、または USB デバイスなど複数のストレージ デバイスがある場合、インストール前に OS インストール ディスクを識別できません。

たとえば、複数の物理ディスクを搭載したサーバに OS をインストールしようとした場合、OS のインストールが発生する可能性があるディスクを制御する方法はありません。

リリース 6.0 (4c) では、この問題を解決するために、次の NI-SCU 設定ファイル パラメータが導入されています。

- **DriveErialnumber**: これは物理ドライブのシリアル番号です。
- **StorageControllerSlotID**: コントローラのスロット ID。 **DriveSerialNumber** が存在する場合、このパラメータは無視されます。

- **VirtualDriveNumber**: VD 番号。

上記のパラメータの値は、python `get_storage_details.py` スクリプト (NI-scu パッケージの一部) を使用して取得できます。このスクリプトは、Cisco IMC の IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを引数として使用します。これらのパラメータを使用して NI SCU 設定ファイルを編集してから、インストールを続行する必要があります。これにより、サーバに複数のディスクがある場合でも、スクリプトが OS のインストールに必要なディスクを選択することが保証されます。



(注) `osDrive:/dev/sdk` フィールドを使用した NI-SCU スクリプトは引き続き適用されます。

解決済みの問題

リリース 6.1(1b)

このセクションでは、Cisco UCS SCU リリース 6.1(1b) における解決済みの問題を記載しています。

表 2: リリース 6.1(1b)

不具合 ID	症状	回避策	リリースで解決済み
CSCvt55184	SCU または OS ISO が HTTPS ファイル共有からマッピングされており、BMC バージョンが 4.1.1 C または 4.1.1 B である場合、NI-HUU は次のエラーを表示します。 操作は失敗しました。 OS ISO のマッピングに失敗しました この問題は解決されました。	ISO マッピングには、HTTP または NFS または CIFS 共有を使用します。 また、4.1.1 C よりも後の BMC バージョンを使用することもできます。	6.1(1b)

リリース 6.0(4)

このセクションでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0(4c) における解決済みの問題を記載しています。

表 3: リリース 6.0(4)

不具合 ID	症状	回避策	リリースで解決済み
CSCvq64911	古い Cisco VIC 管理ドライバは、ドライバがシステム内に物理的に存在しない場合でも、SCUに一覧表示されます。 この問題は解決されました。	この問題の既知の回避策はありません。 システム上で機能への影響はありません。	6.0(4)

リリース 5.1(2)

このセクションでは、Cisco UCS SCU リリース 5.1(2) における解決済みの問題を記載しています。

表 4: リリース 5.1(2)

不具合 ID	症状	回避策	リリースで解決済み
CSCvg09045	OS のインストールが完了せず、[license (ライセンス)] ページでユーザー入力を待機している SCU が停止しています。これは、ネットワークモードが専用モードのときに NI SCU をトリガーすると発生します。 この問題は解決されました。	Cisco IMC ネットワークモードを共有 LOM モードに変更します。	6.0(4)

未解決の注意事項**リリース 6.1(2d)**

このセクションでは、リリース 6.1(2d) における未解決の問題を記載しています。

表 5: リリース 6.1(2d)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvv44907	<p>次の条件下では、Cisco UCS S3260 M5 サーバへの OS のインストールが失敗します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NISCU 設定ファイルで指定されたマウント オプション=<i>ntlm</i> の CIFS 共有上の SCU ISO 	マウント オプション = <i>ntlm</i> を必要としない CIFS 共有に SCU ISO を保持し、インストールを再実行します。
CSCvv57805	Windows OS のインストール中に Cisco UCS C125 サーバのチップセット ドライバをインストールできない。	既知の回避策はありません。
CSCvv37520	IPv6 を介した HTTP または HTTPS 共有サーバからの NISCU OS ISO vmedia マッピングは、Cisco UCS S3260 M4 および M5 サーバで失敗します。	設定ファイルで、IPv6 アドレスに <i>http</i> または <i>https</i> を指定する場合は、ポートも指定する必要があります。

リリース 6.1(1b)

このセクションでは、リリース 6.1(1b) における未解決の問題を記載しています。

表 6: リリース 6.1(1b)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvt83366	<p>次の条件下では、Cisco UCS S3260 への OS のインストールが失敗します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インストールメディアは仮想ドライブまたは物理ディスク。 • インストールメディアは、SBMEzz1 および SBMezz2 スロットおよび S3260 M5 モードに接続されている。 <p>次のエラーメッセージが表示されます。</p> <p>ハードディスクの準備に失敗しました (Harddisk preparation failed)</p>	リリース 6.0(4c) を使用するか、または 4.1.1 F よりも前の BMC バージョンを使用します。
CSCvt78954	Cisco ブート最適化 m. 2 RAID コントローラが搭載された Cisco UCS C125 サーバでは、Windows 2019 サーバ OS のインストールが失敗します。	既知の回避策はありません。
CSCvt90187	NVMe ドライブを搭載した Cisco UCS S3260 サーバでは、OS のインストールが失敗します。	既知の回避策はありません。
CSCvt87288	Windows 2019 サーバ OS でドライバ更新ユーティリティを使用したドライバファームウェアのインストールが失敗します。	ソフトウェアダウンロードから取得した、それぞれのドライバの iso ファイルを使用して、ドライバファームウェアを更新します。

リリース 6.0(4c)

このセクションでは、リリース 6.0(4c) における未解決の問題を記載しています。

表 7: リリース 6.0(4c)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvq98140	<p>Cisco UCS M5 サーバでは、Windows 2012R2、Windows2016、および Windows2019 OS のインストールが失敗します。</p> <p>これには、LSI 組み込み RAID コントローラに接続されている SATA HDD が搭載されています。次のエラーメッセージが表示されます。</p> <p>Windows が無人応答ファイルを解析または処理できませんでした</p>	<p>この問題の既知の回避策はありません。</p> <p>SCU は、ソフトウェア RAID/LSI 組み込みコントローラに接続されている SATA HDD での OS のインストールをサポートしていません。</p>
CSCvq85323	<p>Cisco ブートで最適化 M.2 RAID コントローラに接続している M.2 ドライブで RHEL 7.6 のインストールが失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。</p> <p>ストレージ設定の確認中にエラーが発生しました</p>	<p>VD を作成し、RHEL 7.6 をインストールします。</p>
CSCvq90605	<p>OS ISO 送信元リモート共有に IPv6 アドレスが指定されている場合、NI-SCU スクリプトは失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。</p> <p>NISCU OS のインストールに失敗しました。 CIMC-xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx 理由 -OS メディアが見つかりません。適切な OS メディアを入力してください</p>	<p>OS ファイル共有には IPv4 アドレスを使用します。</p>

リリース 6.0(4a)

このセクションでは、リリース 6.0(4a) における未解決の問題を記載しています。

表 8: リリース 6.0(4a)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvp74380	<p>カスタム Windows 2016/2019 のインストール中に、Assertion failed In ItemFileWriteStore という警告メッセージが表示されます。</p> <p>この問題は、インタラクティブな SCU と Windows OS のカスタムインストールでのみ発生します。</p>	[OK] をクリックしてインストールを続行します。
CSCvp63203	<p>カスタムインストールページで既存の設定を完了せずに、[OS Custom Install (OS カスタムインストール)] ページの他のタブに移動すると、Internet Security という警告メッセージが表示されます。</p>	[Allow (許可)] を選択し、続行のための決定オプションを覚えておきます。
CSCvp91904	<p>デバイス マネージャで Qlogic QL4XXXX カードの実行バージョンが 8.37.35 の場合、QL4XXXX カードの DUU ドライバの更新は失敗します。</p>	8.37.35 バージョンは 6.0(4a) の最新バージョンです。そのため、DUU からの更新をスキップします。
CSCvq00372	<p>NISCU 設定ファイルで SFTP または TFTP プロトコルが指定されている場合、XML 解析エラーが NISCU に表示されます。</p>	NISCU 設定ファイルで SCP または HTTP プロトコルを使用します。
CSCvq00466	<p>NISCU 設定に SFTP または TFTP プロトコルが応答および設定ファイルのファイル共有として含まれている場合、NISCU はインタラクティブモードで起動します。</p>	NISCU 設定ファイルで SCP または HTTP プロトコルを使用します。

不具合 ID	症状	回避策
CSCvp81504	Windows OS では、チップセットドライバのインストールが正常に完了した後、SCU DUU で [Reboot required (リブート必須)] オプションが [NO] と表示されます。	DUU では、[Reboot required (リブート必須)] オプションを [NO] として表示し続けます。更新されたチップセットドライバを適用するために、ユーザはホストを再起動する必要があります。
CSCvp76597	[SCU IOs Inventory (SCU IO インベントリ)] タブには、Emulex ストレージアダプタの誤った WWPN が表示されます。	正しい WWPN 値については、BIOS を参照してください。
CSCvp93110	SCU に表示される [サーバインベントリ (Server Inventory)] と [サーバヘルス (Server Health)] の詳細は、特定のコンポーネントでは不正確な場合があります。	最新の正確な情報を得るには、Cisco IMC/BMC を参照してください。
CSCvp61260	SCU に表示されるサーバインベントリとサーバヘルスの詳細は、特定のコンポーネントでは不正確な場合があります。	最新の正確な情報を得るには、Cisco IMC/BMC を参照してください。
CSCvp61184	SCU IO インベントリでは、MAC アドレスが Qlogic アダプタの NA としてリストされます。	最新の正確な情報を得るには、Cisco IMC/BMC を参照してください。
CSCvp98744	[OS list (OS リスト)] ドロップダウンに関連する SCU UI には、C220 M5 および C240 M5 サーバでサポートされていない場合でも、UBUNTU 18.04 が一覧表示されます。	UBUNTU 18.04 は、すべてのマイナーバージョンをサポートします。そのため、UBUNTU 18.04.01 もサポートされています。 UBUNTU 18.04.01 をインストールするには、UBUNTU 18.04 を選択できます。

不具合 ID	症状	回避策
CSCvp98703	ESXI 6.7 のインストール中に、次のエラーメッセージが表示されます。 3回再試行しましたが、「tryFormatdevice」を正常に実行できません。インストールが続行できません	Intel SSD から RAID0 を作成し、OS をインストールします。
CSCvq64911	古い Cisco VIC 管理ドライバは、ドライバがシステム内に物理的に存在しない場合でも、SCU に一覧表示されます。 この問題は、リリース 6.0(4c) で解決されています。	この問題の既知の回避策があります。 システム上で機能への影響はありません。

リリース 6.0(2)

このセクションでは、リリース 6.0(2b) における未解決の問題を記載しています。

表 9: リリース 6.0(2b)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvq98740	Cisco UCS C460M4 サーバで DUU が起動されると、2つのチップセットオプションが表示されます。これらのチップセットの1つは、チップセットドライバが正常に更新された後でも、現在のドライババージョンと使用可能なドライババージョンに不一致があることを示しています。	この問題の既知の回避策はありません。 最新のドライバがすでに正常にインストールされているため、不一致を無視できます。

不具合 ID	症状	回避策
CSCvq99969	<p>Cisco UCS C460M4 サーバでは、NI-SCU スクリプトを使用して Win2012R2 をインストールする際に、インストールが成功した場合でも、NI-SCU スクリプトに次のエラーが表示されます。</p> <pre> Handling Process pending work Handling Process pending work Process Process-1: Traceback (most recent call last): File "/usr/lib64/cythr2.7/multiprocessing/process.py", line 258, in _bootstrap self.run() File "/usr/lib64/cythr2.7/multiprocessing/process.py", line 114, in run self._target(*self._args, **self._kwargs) File "run_snapshot_niosi.py", line 2280, in IodHandleSnapshotTests responseData = IodProcessPendingWork(logger, work) File "run_snapshot_niosi.py", line 2246, in IodProcessPendingWork work.osiStatus(logger) File "run_snapshot_niosi.py", line 702, in osiStatus if "OS media not found. Please provide proper OS media." in responseData : TypeError: argument of type 'NoneType' is not iterable" </pre>	<p>この問題の既知の回避策はありません。エラーメッセージが表示された場合でもインストールが成功するため、エラーメッセージを無視できます。</p>
CSCvr01665	<p>Cisco UCS サーバ設定ユーティリティの起動ページに、SCU ソフトウェアの不正なダウンロード ページが表示されま す。また、SCU では起動ページに記載されているように、BIOS および CIMC ファームウェアのアップグレードおよびインタラクティブなオフライン診断をサポートしていません。</p>	<p>ソフトウェア ダウンロードから、SCU ソフトウェアを検索してダウンロードすることができます。</p>

不具合 ID	症状	回避策
CSCvr08867	Windows 2012R2 OS を搭載した Cisco UCS C220M4 サーバでは、DUU に Qlogic および Broadcom デバイス ドライバは表示されません。	この問題の既知の回避策はありません。 機能への影響はありません。 Qlogic および Broadcom デバイスの Win2k12 では、受信トレイ ドライバを使用できます。
CSCvr09421	Windows 2012R2 OS を搭載した Cisco UCS C220M4 サーバでは、受信トレイ ドライバに正しくない LSI コントローラ ドライババージョンが表示されます。	この問題の既知の回避策はありません。
CSCvr09464	Cisco UCS C220M4 サーバでは、Cisco 12G モジュラ SAS パススルー コントローラのドライバの更新中に DUU が応答しません。	www.cisco.com ドライバの .iso ファイルをダウンロードし、同じものを使用してドライバを更新します。
CSCvr01571	Cisco UCS S3260M5 サーバが 26 を超える VD を使用している場合、SCU には RAID 設定で次のいずれかのエラーが表示されます。 Malformed response, no response element Error: Unable to load http://127.0.0.1/SCU/fastcgi	Cisco IMC Web GUI または XML API から VD を作成します。

リリース 6.0(2a)

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0 (2a) における未解決の問題を記載しています。

表 10: リリース 6.0(2a)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvo45452	NISCU の実行中は、SCU がライセンス ページで起動し、OS のインストールが失敗します。	NISCU を再トリガーします。

リリース 6.0(1)

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0(1) における未解決の問題を記載しています。

表 11: リリース 6.0(1)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvm67025	Windows のインストールが UEFI モードで失敗します。	もう一方のディスクのパーティションをクリアし、インストールを再試行します。

Release 5.1(1)

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 5.1(1) で未解決の問題を示します。

表 12: Release 5.1(1)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvg09045	OS のインストールが完了せず、[license(ライセンス)] ページでユーザー入力を待機している SCU が停止しています。これは、ネットワーク モードが専用モードのときに NISCU をトリガーすると発生します。	Cisco IMC ネットワーク モードを共有 LOM モードに変更します。

既知の動作**リリース 6.0(2)**

このセクションでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0(2) における既知の動作を記載しています。

表 13: リリース 6.0(2)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvg30801	インストール後、ホストは ESXi オペレーティングシステムで起動しません。	OS のインストールは、UEFI モードで実行されます。 ブートオプションファイルパス \EFI\BOOT\BOOTx64.EFI を持つ BIOS から新しいブートオプションを追加し、その後ホストを再起動します。

不具合 ID	症状	回避策
CSCvo25932	Windows のインストール後、nVidia GPU ドライバはインストールされません。	nVidia GPU カードを搭載したサーバでの Windows のインストールでは、cisco.com に掲載されている windows のドライバ ISO をダウンロードし、OS のインストール後に手動でドライバをインストールできます。

Release 5.1(1)

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 5.1 (1) の既知の動作を示します。

表 14: Release 5.1(1)

不具合 ID	症状	回避策
CSCvg23396	NI-SCU スクリプトはタイムアウトエラーで終了しますが、OS のインストールは続行され、完了します。これは、ISO リポジトリと Cisco IMC の間の帯域幅が少ないネットワークで発生します。	既知の回避策はありません。機能への影響はありません。
CSCvg42114	Red Hat Enterprise Linux 6 Update x で ucs_duu を実行している間に、「GLIBC_2.14」が見つかりません (./ucs_duu による要求) というエラーメッセージが表示されます。	以下の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>mkdir ~/glibc_install;cd ~/glibc_install</code> 2. <code>wget http://ftp.gnu.org/gnu/glibc/glibc-2.14.tar.gz</code> 3. <code>tar zxvf glibc-2.14.tar.gz</code> 4. <code>cd glibc-2.14: mkdir build: cd build</code> 5. <code>j4</code> 6. <code>j4</code> 7. <code>export LD_LIBRARY_PATH=/opt/glibc-2.14/lib</code>